

密厳院 寺院・斎場案内

媒体／パンフレット

仕様／A4片観音折・6ページ・カラー

真言宗智山派の寺院で檀家・一般参拝者向けのご案内パンフレット。

寺院案内

【略縁起】
平安時代のはじめ、法印運慶によって開創されたと伝えられ、境内にあった数金庫と境内を兼ねた辨持神社(辨持八幡宮)にちなんで、大幡山(辨持山)密厳院と号しました。
開創三聖院の直末寺で、未だらか寺を有し、開創当初から辨持神社(辨持八幡宮)の別当を兼ねていました。
密厳院の前身辨持は、明治10年7月に23代・智祖大和尚によって提出されており、その記述は詳細をきわめたもので、本尊の不動明王像をはじめ9尊の尊像が安置され、1町8段8畝6歩(5,646坪)の寺領地を所有していたことがわかります。
大正10年(1921年)、新仏教家の外資によって、74世・染香大和尚が講堂宇を建立したことが、「大森区史」に記されていますが、昭和22年7月の火災のため、本堂と庫裡は焼失してしまい、昭和32年から38年にかけて75世・後照大和尚によって建立されました。
現在の密厳院は、平成14年～16年にかけて境内整備がなされ、それに伴って本堂と庫裡も再建されました。また、その折、新たに密厳院会館が新築されました。

【ご本尊】
大日如来様の後香として真言行者を守護して下さる不動明王様。

【お七地蔵】
八咫原お七は悪徳のために放火し、江戸の大火を引き起こしたため、鈴ヶ森刑場で地蔵されました。お七の屍体は密厳院に引き取られて、その霊を慰めるために、お七の住んでいた小石町の念仏講の大家が、3回忌にあたる貞享2年(1685年)に建てたものです。大田区前定文化財。(写真左は、庚申供養場です)

【札所】
玉川八十八ヶ所霊場 第七十六番札所
十五の一人、聖徳太子(法皇)は皇孫孫孫 聖徳太子像も安置している太子堂

電車の場合
京浜急行線「大森海岸」駅下車 徒歩7分
JR京浜東北線「大森」駅下車 徒歩10分

バスの場合
JR大森駅東口より京浜急行バス
大森東5丁目行「大森北2丁目」下車 徒歩1分

お車の場合
首都高速1号羽田線「鈴が森」出口 車で5分
※「鈴が森」出口は東京方面からのみになります。

真言宗智山派 密厳院
〒143-0016 東京都大田区大森北3-5-4
TEL 03-3761-8957 FAX 03-5471-5151
<http://www.mitsugoin.or.jp/>

斎場・寺院のご案内

表紙

密厳院会館は、宗門・宗派を問わず、葬儀式場としてご利用いただけます。館内は全館バリアフリーで、移動にはエレベーターや車椅子もご利用いただけます。

■ホール

■導師控室

■身障者用トイレ

■斎場 約60～100名様ご利用可能となっております。

■広間 お食事やご休憩できるお部屋です。約60名(着席時)がご利用できます。

■和室(親族控室)

【密厳院会館建物概要】

	1F	2F
斎場	83.78㎡	広間 71.56㎡
玄関・ホール	107.47㎡	和室(親族控室) 38.24㎡
		導師控室 14.83㎡

■ 1F 平面図

■ 2F 平面図